

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童デイサービス チットチャット・スポーツ塾 2号店		
○保護者評価実施期間	2026年 12月 19日		～ 2026年 1月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	96名	(回答者数) 32名
○従業者評価実施期間	2026年 2月 1日		～ 2026年 2月 6日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数) 4名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 9日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者がお子さんの成長を感じられるように、環境を整備している事。(直接の観覧・フィードバック・記録の確認)	学校での取り組みとリンクして活動内容を検討している。事業所内だけでなく、日常をより豊かにしていく手立てにしていけるように。	指導員の専門性を高めるための研修や情報共有の場を充実させる。
2	集団イベントの充実。月1の野球、卓球イベントなどを実施しており、集団活動の成長を感じる事が出来る。	利用者のニーズに応じた集団イベントを実施。本人たちの好きなことを共有する場として機能している。縦割りのシステムが機能しており、異年齢とのコミュニケーションの経験を積むことが出来る。	イベント内容の充実。活動内容を広げたり、専門技能を獲得して自信を獲得できるように環境を整備する。
3	屋外活動の充実。近隣の公園での活動や体力づくりの一環として、ジョギングなども取り入れている。	身体が大きくなった利用者様が思い切り身体を動かせる場として機能している。球技などの技術指導のための研修も行っている。	利用者様や保護者のニーズをより把握し、お応えできるような技能、知識を研修や講習により獲得する。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保育所や認定こども園、幼稚園等と交流や地域での活動が行えていない。	ワンツーマンレッスンを重点的に取り組むことで、個人の力を育てているため。	地域交流の窓口をつくる。
2	その他福祉サービス、事業所との連携が十分ではない。	連携に当たるシステムや人材が不足している。	連携に努める流れの確立の為に、業務内容に組み込む。
3	事業所における非常災害時の対応について十分な説明がされていない。	周知が行き届いていないため。	HPの掲載、SNSでの周知などを行い、保護者・利用者様に知っていただく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 児童デイサービス チットチャット・スポーツ塾 2号店

公表日 2026年3月1日

利用児童数

96名

回収数

32名

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	88.20%	11.80%	0%	0%	小学生3人になるとやや狭くは感じますが、3人部屋になることは事前に説明していただけるので有り難いです。	ご意見ありがとうございます。利用者様が満足に活動できるスペースの確保に努めます。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	100%	0%	0%	0%	必要に応じて補助の先生に入ってもらえています。	
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	100%	0%	0%	0%		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	100%	0%	0%	0%	梅雨時期から夏場はどうしても汗と湿っぽいニオイが気になる	ご意見ありがとうございます。湿度管理などの環境整備に努めます。
適切な 支援の 提供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	94.10%	5.90%	0%	0%	先生によって、子供に指示を伝えることができる度合いに差がある	ご意見ありがとうございます。指導員の専門性を高めるための研修を実施しております。保護者に分かりやすく伝達できるように努めます。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	100%	0%	0%	0%		
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	100%	0%	0%	0%	こちらの要望を踏まえて計画を作成していただいています。	
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	97.10%	2.90%	0%	0%		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	100%	0%	0%	0%	やりたいとお願いしたことをきいていただけている。	
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	94.10%	5.90%	0%	0%	本人は同じことをしがりますが、自然に運動の幅を広げていただいています。	
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	23.50%	41.20%	35.30%	0%	・利用したことがないが興味ある ・公共の広場などで野球などがあり、地域の方と同じ場で過ごす機会があります	ご意見ありがとうございます。今後も地域資源を活用できるように努め、またその周知に努めます。
保護者 への 説明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	100%	0%	0%	0%		
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	100%	0%	0%	0%		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	97.10%	0%	2.90%	0%	参加しました。発達のパラミッドなどがわかりやすかったです。	
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	100%	0%	0%	0%		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	82.40%	17.60%	0%	0%	毎回保護者からの話を丁寧に聞いてくださいます。	
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	100%	0%	0%	0%		
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。	67.60%	23.50%	8.80%	0%	・支援を望む方が希望を叶えられているか不明 ・開催されているのは知っているが利用したことがない	ご意見ありがとうございます。ご家族への支援に関する情報を周知できるように努めます。
19 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	85.30%	14.70%	0%	0%			

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	97.10%	2.90%	0%	0%	親も見学しているので意思疎通が図られている	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	97.10%	2.90%	0%	0%		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	94.10%	5.90%	0%	0%		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	52.90%	44.10%	2.90%	0%	利用回数少ないので、分かりません。	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	52.90%	38.20%	8.80%	0%	利用回数少ないので、分かりません。	
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	94.10%	2.90%	2.90%	0%		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	76.50%	20.60%	2.90%	0%	事故が起こったことがないのでわかりません。	
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	100%	0%	0%	0%	通所を嫌がる素振りは全くなく、安心して利用させていただいています。	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	97.10%	2.90%	0%	0%	野球クラブはかなり楽しみに来てます。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	97.10%	2.90%	0%	0%	・体調が不安定とは見え、欠席が多く申し訳ないですが、いつも状況を共有しながら丁寧にセッションや対応くださり、ありがとうございます！ ・先生によって指導の技量に差があるため	ご意見ありがとうございます。より良いサービスの向上の為の措置を講じていきます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童デイサービス チットチャット・スポーツ塾 2号店		公表日		2026年 3月 1日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		子ども一人あたりおよそ7㎡の床面積を確保、更衣室兼カームダウンのスペースも設けている		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		児童指導員を常時3人以上、指導スタッフとして配置している		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		子どもが安心して過ごせるよう遊具等を整備し、心地良く過ごせる環境を作っている		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎日全レッスン終了後に清掃を行い清潔を保つようにしている。レッスンに使用する道具等は棚や決められた場所に収納し、常に動きやすいスペースを確保している		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		必要に応じて、個別の空間になれる環境を設定することが出来る		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		全スタッフが同じシステム、同じ意図をもって支援にあたるように日々の店舗ミーティングおよび月一度の合同ミーティングなどで随時意見交換している		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		保護者向けアンケートを実施し、各項目に対する評価やご意見から業務改善に対応している		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		業務の開始前、終業後にはミーティングを行い、定期的に職員とのヒヤリングを行う環境づくりをしている		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		チットチャットのシステムを学ぶための見学者や研修者が全国から来塾され、また各支店からの研修なども実施しており第三者の視点で意見や感想をいただき、改善のヒントにしている		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		定期的に外部講師を招き研修を行っている 社内でも技術指導の研修や指導員間の意見交換を行える時間をとっている		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		店舗、ホームページにて公開している		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		毎回、モニタリング時には保護者のご意見や利用児のニーズに合わせた計画書を作成できるように心掛けている		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		サービス担当者会議等を行い、指導者が共通理解のもと、サービスを行えるようにしている		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		指導前には必ず支援計画や指導記録等資料を確認し、目標に沿ったプログラムを提供している		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		指導中に、第三者の指導者が保護者様と会話するなど、日々の行動観察に努めている		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		利用者の支援計画には、本人の希望や保護者のニーズなどを考慮した支援内容を設定している		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		全利用者の指導アプローチをスタッフ全員で共有する会話を毎日行っている		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		指導者がプログラムを決めず、子ども達の自主性主体性からプログラムを提供するサービススタイルなので固定化されない		

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		保護者へのアンケート調査や聞き取りをもとに個別指導、ペア指導、少人数集団指導の希望にそって指導計画を立案している	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		必ずその日の利用する子ども達の指導担当を割り振り、リードとサブなどの役割分担を確認している	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		毎日必ず指導スタッフそれぞれが感想、気付き、問題点などについて申し送りを行い。共有化している	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		毎回指導記録を記入し、スタッフ全員が閲覧できるようクラウド化している	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		6ヶ月に一度、アンケート調査ならびに聞き取り調査など保護者との会話、情報交換の時間をつくっている また保護者が指導現場に同席される事が多く、毎回の利用で意見交換をしている	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	○		活動を通し、自立支援や日常生活におけるスキルの向上、また余暇の提供や習得等を支援を行なっている	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		活動の種目を自己選択できるような問いかけを行いながら支援を行っている	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児童発達支援管理責任者が参加している	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		現在、医療的ケアの必要な児童の利用はないが、必要に応じて関係機関との連携をとる体制は整えている	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		送迎は行っていない 学校との年間計画や行事の意見交換、下校時間の把握は行っていない	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		同席される保護者様から随時情報提供していただいている また所属されていた施設からの見学も多数あり、支援の理解を共有している	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		サポートブック等、必要に応じ情報の提供を行っている	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		現在、児童発達支援センターとの連携は行っていない	次年度からの課題として共有を行う
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		障がいのない子どもとの交流はあまり設けていないが、利用者の兄妹児や卒業生などが参加できる合同のイベント（野球レッスン）を開催し交流を図っている	既存のイベントを活用しながら、ユーザーの拡大を行う
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		積極的な参加が出来ていない	情報の獲得から、参加へ繋げる
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		送迎を担っていただき、かつ指導場面に同席されている保護者の方とは毎回の利用の際に充実した意見交換を行っている	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		運動・スポーツに関する相談だけでなく、運動・スポーツを利用した子どもさんの成長に役立つ情報は頻繁にお伝えしている また家庭で行えるプログラムの提供を行っている	
関	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		毎回の契約時に適切に説明し理解を得られるようにしている	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		こどもや利用者の意思などを聞き取り、ニーズに合わせた計画書を作成している	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		モニタリングの際得られた情報よりモニタリング報告書を作成し、それに基づいて支援計画書を作成していることを説明し、保護者様に計画書の内容を確認していただいた上で同意を得ている	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		経験豊富な障がい児スポーツ指導員、元支援学校教員、保育士、児童指導員を中心に随時相談や適切な助言を行っている	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	○		定期的に子育てに役立つ講演会などを外部講師に依頼し保護者の方へ紹介、参加を促している	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		児童発達支援管理責任者を中心に、相談および申し入れに対しては即時対応するように徹底している	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		毎月1回の通信誌の発行ならびにHP、LINE、フェイスブックによる情報発信をしている	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		必ず施錠できるロッカーに保管している	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		毎回の利用時に必ず保護者との直接会話の時間をつくっている	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		子育てや障害児のスポーツ指導法に関する講習会、研修会を図児実施し誰もが参加受講できる催しを開催している	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		ファイリングし、いつでも閲覧できるよう訓練指導室に配置している	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		BCPを策定し、避難場所の確認や訓練等を行っている	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		契約時や6ヶ月に一回のモニタリング時、毎利用時の保護者との会話の際に身体状況や服薬等の確認を行っている	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		おやつ、食事の提供は行っていない	今後も行う予定はない
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画を作成し、それらを元に研修や訓練等を行っている	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		掲示板に避難経路や避難場所を貼りだす事で、周知できるようにしている	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		データにて保管しており、自店舗または店舗のすべてのスタッフがいつでも閲覧できるようにしている	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		必ず虐待に関する研修会にスタッフを参加させ、合同ミーティングで全スタッフに伝える時間を設けている	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		同伴する保護者がいるので、身体拘束が必要な利用者はいない また状況に応じ、拘束が必要な場合は事前に保護者に同意を取り、支援計画書に示す事としている		

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童デイサービス チットチャット・スポーツ塾 2号店		
○保護者評価実施期間	2026年 12月 19日		～ 2026年 1月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	27名	(回答者数) 22名
○従業者評価実施期間	2026年 2月 1日		～ 2026年 2月 6日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数) 4名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 9日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者が活動を観覧する場面が多く、現場の支援の温度感が直接伝わりやすい。利用者様、保護者、スタッフの三位一体の関係性が構築できている事。	レッスン後のフィードバックを必ず行う事で、レッスンにご本人、保護者のご意向、指導員の思い・考えが反映されやすいようになっている。	より家庭と連携するほか、情報交換を行える場を設定していく。(座談会、保護者セミナー等)
2	各学年ごとに参加しやすいイベントを月1で実施している。	集団、小集団、ペアでの活動を経験する事で、日常での集団活動につなげている。	より活動内容の充実や参加者の特性に応じた支援が行えるように意見を交換できる場を設ける
3	近隣の公園での屋外活動が充実している。	室内より広いスペースで活動することで、スケールの大きい活動を行ったり、自転車等の日常に活かせる活動にも取り組むことができています。	利用者のニーズに応えられるように相談しやすい環境づくりに努める。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保育所や認定こども園、幼稚園等と交流や地域での活動が行えていない。	フットマンレッスンを重点的に取り組むことで、個人の力を育てているため。	地域交流の窓口をつくる。
2	その他福祉サービス、事業所との連携が十分ではない。	連携に当たるシステムや人材が不足している。	連携に努める流れの確立の為に、業務内容に組み込む。
3	事業所における非常災害時の対応について十分な説明がされていない。	周知が行き届いていないため。	HPの掲載、SNSでの周知などを行い、保護者・利用者様に知っていただく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	児童デイサービス ネットチャット・スポーツ塾 2号店					公表日	2026年 3月 1日		
	利用児童数	27名			回収数	22名			
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	100%	0%	0%	0%	広々と走り回れて満足しています。		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	95.50%	4.50%	0%	0%			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	95.50%	4.50%	0%	0%	障がい特性に合わせて配置を変えたりなどされています		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	95.50%	4.50%	0%	0%	失禁時など手早くマットを交換されていました。衛生面に無頓着な事業所は利用したくないので、適切に対応されていると安心します。	ご意見ありがとうございます。今後も継続して清潔な活動空間をつくっていきます。	
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	95.50%	4.50%	0%	0%	こどもの特性に対する理解に関して、先生によってばらつきがあって、もっと包容性のある支援姿勢を取れば、助かります。	ご意見ありがとうございます。お子さんに合わせた支援体制をチームで共有を行っていきます。	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	90.90%	9.10%	0%	0%	支援プログラムと支援内容の関係性について、ご説明と意見交換の機会が増えたいと思います。	ご意見ありがとうございます。指導後のフィードバックをこれまで以上に密に行えたいと思います。	
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	90.90%	9.10%	0%	0%	保護者のニーズを分析されているかもしれませんが、毎日の支援内容についてどうやって反映しているかは、有効な意見交換ができればと思います。		
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	95.50%	4.50%	0%	0%	支援目標に対して、どのような目的で、当日の支援項目を設定しているかは支援後に軽くお話しできればと思います。		
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	95.50%	4.50%	0%	0%			
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	81.80%	18.20%	0%	0%	少しチャレンジしてもらった活動の設定が不足かと思えます。毎回同じ活動をやっている時間が大半と感じています。	ご意見ありがとうございます。お子さんの成長段階やその時のご様子によって課題を設定させていただいております。指導員の共有を密に行えるように尽力いたします。	
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	36.40%	36.40%	27.30%	0%	当方が参加をしていない為、把握できていない		
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	95.50%	4.50%	0%	0%			
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	90.90%	4.50%	4.50%	0%	毎回、支援活動後にご説明があれば、助かります。		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	77.30%	22.70%	0%	0%	弟がいて、いつも一緒に見てもらって助かっています。		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	86.40%	9.10%	4.50%	0%	よくお話を聞いてくださり、一緒に子どもの成長を喜んでくださり嬉しいです。		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	77.30%	18.20%	4.50%	0%			
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	90.90%	9.10%	0%	0%			
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	72.70%	27.30%	0%	0%	たまに兄弟を連れて行くときは、兄弟も一緒に活動させてもらって声をかけてくださったりしています。		
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	86.40%	9.10%	4.50%	0%			

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	95.50%	4.50%	0%	0%		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	100%	0%	0%	0%	こまめにSNSを更新、配信されていて便利です。	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	90.90%	9.10%	0%	0%	分かりません。	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	81.80%	18.20%	0%	0%	訓練はわかりませんが、ヘルメットを常備されています。	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	45.50%	50%	4.50%	0%	状況を把握しておりません	
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	81.80%	18.20%	0%	0%	安全を確保するための計画についての説明はわかりません。	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	90.90%	9.10%	0%	0%	以前卓球台で頭を打ったのですが、すぐに保冷剤を持ってきて頭を冷やしていただきました。	
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	95.50%	4.50%	0%	0%	毎回、楽しみに通わせてもらってます。	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	90.90%	9.10%	0%	0%	行きしぶりが全くなく、急な当日空き枠にも申し込むか聞くと「行く」と言い、楽しげに通っています。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	95.50%	0%	4.50%	0%	通ううちに、前より体を使う遊びやお友達との遊びに積極的になったり、自己主張が前よりできるようになってきたりしたように見えます。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童デイサービス チットチャット・スポーツ塾 2号店				公表日	2026年 3月 1日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>		子ども一人あたりおよそ7㎡の床面積を確保、更衣室兼カームダウンのスペースも設けている			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>		児童指導員を常時3人以上、指導スタッフとして配置している			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	<input type="radio"/>		子どもが安心して過ごせるよう遊具等を整備し、心地良く過ごせる環境を作っている			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>		毎日全レッスン終了後に清掃を行い清潔を保つようにしている、レッスンに使用する道具等は棚や決められた場所に収納し、常に動きやすいスペースを確保している			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	<input type="radio"/>		必要に応じて、個別の空間になれる環境を設定することが出来る			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>		全スタッフが同じシステム、同じ意図をもって支援にあたるように日々の店舗ミーティングおよび月一度の合同ミーティングなどで随時意見交換を行っている			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		保護者向けアンケートを実施し、各項目に対する評価やご意見から業務改善に対応している			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		業務の開始前、終業後にはミーティングを行い、定期的に職員との意見交換を行う時間を設けている			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		当社のシステムを学ぶための見学者や研修者が全国から来塾される。また各支店からの研修なども実施しており第三者の視点で意見や感想をいただき、業務改善に繋げている			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>		定期的に外部講師を招き研修を行っている 社内でも技術指導の研修や指導員間の意見交換を行える時間をとっている			
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	<input type="radio"/>		店舗、ホームページにて公開している			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	<input type="radio"/>		毎回、モニタリング時には保護者のご意見や利用児のニーズに合わせた計画書を作成できるように心掛けている			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>		サービス担当者会議等を行い、指導者が共通理解のもと、サービスを行えるようにしている			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>		指導前には必ず支援計画や指導記録等資料を確認し、目標に沿ったプログラムを提供している			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	<input type="radio"/>		指導中に、第三者の指導者が保護者様と会話するなど、日々の行動観察に努めている			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	<input type="radio"/>		利用者の支援計画には、本人の希望や保護者のニーズなどを考慮した支援内容を設定している			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	<input type="radio"/>		全利用者の指導アプローチをスタッフ全員で共有する時間を設定し、直接支援の手立てとしている			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	<input type="radio"/>		指導者がプログラムを決めず、子ども達の自主性主体性からプログラムを提供するサービススタイルなので固定化されない			

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		保護者へのアンケート調査や聞き取りをもとに個別指導、ペア指導、少人数集団指導の希望にそって指導計画を立案している	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		必ずその日の利用する子ども達の指導担当を割り振り、リードとサブなどの役割分担を確認している	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		終礼の中に指導スタッフそれぞれが感想、気付き、問題点などについて申し送りをし共有化している	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		毎回指導記録を記入し、スタッフ全員が閲覧できるようクラウド化している	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		6ヶ月に一度、アンケート調査ならびに聞き取り調査など保護者との会話の時間をつくっている また必ず保護者が指導現場に同席されるので、毎回の利用で情報・意見交換を行っている	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児童発達支援管理責任者が参加している	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		現在、医療的ケアの必要な児童の利用はないが、必要に応じて関係機関との連携をとる体制は整えている	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		同席される保護者様から随時情報提供していただいている また所属されている事業所や学校からの見学も多数あり、一貫した支援の手立てとしている	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		同席される保護者様から随時情報提供していただいている また所属されていた施設からの見学もあり、支援への理解を共有している	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。		○		現在は、そのような機会を設けていない 今後地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じた取り組みを行えるように努める
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		○		障がいのない子どもとの交流はあまり設けていないが、利用者様の兄妹児や卒業生などが参加できる合同のイベント（野球レッスン）を開催し交流を図っている
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○			送迎を担っていただき、かつ指導場面に同席されている保護者の方とは毎回の利用の際に充実した意見交換を行っている
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○			運動・スポーツに関する知識を共有する場や、保護者同士が交流を行う場を設定を行っている また兄妹児とのペアレント・トレーニングを取り入れている家庭もある	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			毎回の契約時に適切に説明し理解を得られるようにしている
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			こどもや利用者の意思などを聞き取り、ニーズに合わせた計画書を作成している
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○			モニタリングの際得られた情報よりモニタリング報告書を作成し、それに基づいて支援計画書を作成していることを説明し、保護者様に計画書の内容を確認していただいた上で同意を得ている
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○			経験豊富な障がい児スポーツ指導員、元支援学校教員、保育士、児童指導員を中心に随時相談や適切な助言を行っている

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		定期的子育てに役立つ講演会などを外部講師に依頼し保護者の方へ紹介、参加を促している	
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		児童発達支援管理責任者を中心に、相談および申し入れに対しては即時対応するように徹底している	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		毎月1回の通信誌の発行ならびにHP、LINE、その他SNSによる情報発信を行っている	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		重要書類は必ず施錠できるロッカーに保管している	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		毎回の利用時に必ず保護者との直接会話の時間をつくっている	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○	○	子育てや障害児のスポーツ指導法に関する講習会、研修会を定期的実施しているが、利用者関係者の参加がほとんどとなっている。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		ファイリングし、いつでも閲覧できるよう訓練指導室に配置している	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		BCPを策定し、避難場所の確認や訓練等を行っている	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		契約時や6ヶ月に一回のモニタリング時、毎利用時の保護者との会話の際に身体状況や服薬等の確認を行っている	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○	○	おやつ、食事の提供は行っていない	今後も行う予定はない
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画を作成し、それらを元に研修や訓練等を行っている	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		掲示板に避難経路や避難場所を貼りだす事で、周知できるようにしている	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		データにて保管しており、自店舗また他店舗のすべてのスタッフがいつでも閲覧できるようにしている	
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		必ず虐待に関する研修会にスタッフを参加させ、合同ミーティングで全スタッフに伝える時間を設けている		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		同伴する保護者がいるので、現在身体拘束が必要な利用者はいない また状況に応じ、拘束が必要な場合は事前に保護者に同意を取り、支援計画書に示す事としている		